おおさき福祉のページ vol.129

編集製作／社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町二丁目5－1
大崎市古川保健福祉プラザ（ワプラザ）内
TEL 0229(21)0550　FAX 0229(24)1158
URL　https://www.osaki-shakyo.com
製作協力／株式会社大崎タイムス社

令和3年度 おおさき福祉の心コンクール

主催：社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
後援：大崎市・大崎市教育委員会・㈱大崎タイムス社
大崎市ボランティア連絡協議会・大崎市民生委員児童委員協議会
大崎市障がい者福祉協会・大崎市老人クラブ連合会

入賞おめでとうございます

次世代を担う小・中学生を対象に福祉に関する作品に取り組む事を通じて、地域福祉活動やボランティア活動への関心を高め、「思いやり」や「支えあい」の心を育むことを目的に、令和三年度おおさき福祉の心コンクールを実施いたしました。

福祉作文・福祉ポスター・福祉川柳それぞれの部門に、合計998点の作品を応募いただき、ありがとうございました。入賞された皆様をご紹介いたします。〈敬称略〉

◆福祉作文の部〔小学生の部〕
◇最優秀賞
古川第二小学校　六年　竹内　智治
◇優秀賞
志田小学校　六年　佐藤　洸明
古川第二小学校　六年　三塚　柚菜
◇優良賞
岩出山小学校　六年　佐藤　南美
鹿島台小学校　四年　中野　翔太
岩出山小学校　三年　安達　煌
◇優良賞
鳴子中学校　二年　阿部　珠希
田尻中学校　一年　熱海　心琉
松山中学校　三年　玉ノ井　麻希

◆福祉作文の部〔中学生の部〕
◇最優秀賞
古川東中学校　二年　大場　温
◇優秀賞
古川黎明中学校　三年　樋口　怜菜
古川東中学校　一年　安倍　友香
◇優秀賞
古川第五小学校　五年　佐藤　琴望
川渡小学校　六年　湯山　花音
古川第二小学校　六年　杉澤　陽希
◇優良賞
古川第五小学校　五年　二宮　好華
沼部小学校　六年　加藤　萌衣
古川第五小学校　一年　明石　快成

◆福祉ポスターの部〔小学生の部〕
◇最優秀賞
古川第五小学校　五年　佐藤　琴望

◆福祉ポスターの部〔中学生の部〕
◇最優秀賞
古川黎明中学校　三年　及川　彩羽
◇優秀賞
古川黎明中学校　三年　鈴木　明華
三本木中学校　一年　加藤　芽良
◇優良賞
古川黎明中学校　三年　早坂　心結
古川黎明中学校　三年　山内　駿平
三本木中学校　二年　新澤　舞依

◆福祉川柳の部〔小学生の部〕
◇最優秀賞
岩出山小学校　六年　佐藤　南美
◇優秀賞
鹿島台小学校　五年　白坂　七菜
鹿島台小学校　五年　佐々木　結生
◇優良賞
下伊場野小学校　六年　高橋　昊孜
三本木小学校　四年　鈴木　星奈
沼部小学校　四年　畠山　佑槻

◆福祉川柳の部〔中学生の部〕
◇最優秀賞
古川黎明中学校　三年　名取　尚慶
◇優秀賞
岩出山中学校　一年　今野　凜月
古川学園中学校　三年　長曽我部　天彬
◇優良賞
古川黎明中学校　二年　菊地　花音
松山中学校　三年　稲藤　かんな
鹿島台中学校　二年　工藤姫夏

福祉ポスターの部

「みんなが幸せ・笑顔」

最優秀賞

古川第五小学校　五年　佐藤　琴望

「この手を福祉の力に」

最優秀賞

古川黎明中学校　三年　及川　彩羽

福祉川柳の部

最優秀賞

介護して　喜ぶ笑顔　みたされる
岩出山小学校　六年　佐藤　南美

最優秀賞

席ゆずる　君の善意に　金メダル
古川黎明中学校　三年　名取　尚慶

※入賞作品については当会ホームページでご覧いただけます。

【福祉作文の部】小学生の部　最優秀賞

「オギーの気持ちを知って」

古川第二小学校　六年　竹内　智治

ぼくはスイミングを習っていました。ある日、ふりかえのレッスンでいつもと違う時間のレッスンに行ったとき、片足のひざから下がないおばあさんがプールサイドに座っていました。ぼくは一瞬驚いて、その後じろじろ見るのは悪いと思い、あまり見ないようにしました。そして、帰りの車の中で

「その時間帯にレッスンに行くのは嫌だ。」

と母に言いました。母は

「そうなんだ。」

と言うとだまってしまい、重い雰囲気になりました。ぼくは気まずくて言わなければ良かったと思いました。

その年の夏休みに「ワンダー」という本を母にすすめられて読みました。遺伝子の病気によって十歳で二十七回もの手術を受けてきた少年オギーの話です。十歳になって初めて学校に通うことになります。始めは、オギーを見た友達は悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて「病気がうつる」と避けるようになります。しかし、次第にオギーの話を面白いと感じる同級生が少しずつ増えて、みんなと仲良く楽しく過ごせるようになっていきました。この本は、障害を持っている人の周りからの反応とその時の気持ち、そのオギーを支える家族の大変さ、いじめっ子のいじめる思い、見た目で判断せずに中身を見る友達の思いが書かれています。ワンダーを読むまでのぼくは、障害を持っている人に対して考えるのが少し苦手で、いつも手助けをしないといけないと思っていました。しかし、この本を読んだ後は、オギーがかしこくて面白いことを考えることが得意だったように、見た目だけでは分からない、何か得意なことを持っているのかもしれないと思うようになりました。また、多くのことは自分で工夫してできるため障害を持っているというだけで特別あつかいをしてほしくないことも分かりました。

ぼくは見ませんでしたが、プールで出会ったおばあさんはその一本の足でぼくよりも上手に泳いでいたのかもしれません。あの時は驚いてあまり見ないようにしましたが、今のぼくだったらオギーの気持ちが分かるから、驚くだけでなくふつうに受け入れられると思います。もし困っている人を見かけたら「ぼくに、何かできることはありませんか」と、やさしく声をかけてお手伝いをしたいです。障害を持っている人とどう接すれば良いのか分からない人に、オギーのようにみんなと同じように接してほしいと思っている人がいることを伝えようと思います。そうすれば障害を持っている人は、やりたいことに挑戦しやすくなります。ぼくは、これからは見た目だけで判断しないで、しっかりとその人と向きあい、その人の本当の良いところに目を向けるようになりたいです。

一人一人が思いやりを持った行動をすれば、みんなが幸せに生活できるようになります。みんなが笑顔で過ごせる毎日があったらいいなと思います。

【福祉作文の部】中学生の部　最優秀賞

「海を渡ったランドセル」

古川東中学校　二年　大場　温

今年、私のランドセルは海を越えてアフガニスタンへ渡りました。

保育園の卒園前、両親からプレゼントされたランドセル。ピンクの刺繍が入った、茶色のランドセルは私のお気に入りでした。小学校六年間使い続け、あまりきれいとは言えないけれど、どんな日も登下校を共にした大切なランドセルでした。

中学校に入学してからは背負うのはリュックサックになり、ランドセルは部屋の片すみにポツンと置いてあるだけになりました。これからも使い道は特にないだろうけれど、思い出のランドセルを捨ててしまうのも気が引ける。そのような気持ちが入り混じり、長い間ランドセルの将来を決められずにいました。そんなとき、私は図書館で一つの本と出会いました。内容は、使い終わったランドセルを恵まれない子供達のいる国、特にアフガニスタンへ送り、それを使ってもらうことで子供達の夢を応援し、支援できる。といったものでした。私はぜひ寄付したいと思い母に相談したところ、

「実は五年前にお姉ちゃんのランドセルを寄付したことがある。」

と言われ、私の思いを快く承諾してくれました。私は勉強がしたいと思う子供達に自分のランドセルを使ってもらえると思うとうれしくなり、誰かの役に私が立てることがあるんだ。と思いました。それと共に、アフガニスタンで頑張っている子供達に負けないように私も頑張ろうという思いもわいてきました。

福祉に対する理解が浅い私は、福祉活動は難しくて、私のような中学生にできることは少ないというイメージを持っていましたが、ランドセルの寄付を通して私にもできることは身近にあることを知り、福祉の魅力を直に感じました。

アフガニスタンの子供達は、学校に行きたくても様々な理由で学校に通うことができない子供が沢山いるそうです。しかしこのような悲しい現実は、アフガニスタンだけではなく世界中の国々で起こっています。まだ中学生である私には、多額の募金をしたり、現地へ行って活動するのは難しいと思います。今私達に必要なのは、福祉とは何なのかを学び難しいものだけではないという福祉の多様性に視野を広げ、ひとつひとつの小さな思いやりの行動を日常から積み重ねていくことだと思います。その小さな思いやりが重なれば、ひとりひとりが気持ち良く過ごせると思います。

私が送ったランドセルは、今どんな人に使ってもらっているんだろう。そう思うことがありましたが、大切に使ってもらっていて、その子の将来の希望に繋がっていたら嬉しいです。

わたしたちは福祉活動を応援しています

健康と快適の明日を考える
WATAKYU SEIMOA
ワタキューセイモア株式会社
東北支店　〒989-3124
仙台市青葉区上愛子字上遠野原9-51
TEL 022-392-2141㈹　FAX 022-392-6662
業務案内　寝具設備・患者衣に関する一切の業務
各種介護用品の販売

ヘルスケアフードの明日を考える
日清医療食品株式会社
http://www.nifs.co.jp
〒980-0811
仙台市青葉区一番町1－9－1
仙台トラストタワー23階
TEL 022-221-8221 FAX 022-221-8225

介護ロボット 移乗です

株式会社あかね福祉　お問合せは：024-937-5022

～旅立つ人のこれまでと
送る人のこれからを～
有限会社 ちゅうそう
葬祭会館 セレモニー鳴子
葬祭会館 プラムストーン
葬祭会館 クオーレ（岩出山）
TEL.(0229) 84-7088
http://www.chusou.co.jp/

ご支援、ご協力
ありがとうございます。
広告のご提供をいただきました業者様等におかれましては、平素より本会の事業運営に対し、多大なるご支援・ご協力を賜っております。広告における収入は、広報紙のより一層の充実に活用させていただきます。
温かい善意に心より感謝申し上げます。
【お問い合わせ】
社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
総務企画課　TEL 0229－21－0550
FAX 0229－24－1158